



**ノントレー包装でプラスチックの使用・フードロスを削減
『環境宣言』を掲げて本部・加盟店が一体となり、環境問題に向き合う**



全日本食品株式会社（全日食チェーン）様

「SDGs = Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」で掲げられた課題である環境問題に、様々な企業が取り組んでいます。

全日本食品株式会社（全日食チェーン）で、この問題を推進している店舗本部 店づくり企画部の中山様に取材しました。

**加盟店とお客様にメリットがある
環境負担の少ないノントレー包装**

全日食チェーンは、地域のミニスーパーや個人商店の経営者からなるボランティアチェーンです。約1600店舗が加盟する全国規模のネットワークで「いつもあなたのとおりである」をコンセプトに、お客様の生活に寄り添った地域で愛されるお店づくりを行っています。

「CO2 やごみの削減のために、環境に負担が少ないトレーはないかと探していました。ちょうどその頃、消費者が肉や魚を購入した後、食品トレーなどをお店のゴミ箱に捨てて中身だけを持ち帰る『くるりポイ』がニュースでも取り上げられていました」（中山様）

CO2 やごみが削



全日本食品株式会社 店舗本部 店づくり企画部 次長

中山 卓 様

減でき、『くるりポイ』も解決できるものとして見つけたのが、ノントレー包装でした。

「ノントレー包装であれば購入後のトレー処理の煩わしさは解消できますし、空気に触れない真空包装で鶏肉は1日、豚肉は2日ほど、消費期限が延長されました。これによってフードロスが減り、加盟店とお客様の大きなメリットとなっています。現在、ノントレー包装機は、埼玉県（戸田）と北海道のチルドセンターで稼働中です（2021年11月現在）。今後、各地域に導入し、ノントレー包装を展開していく予定です」（中山様）





戸田チルドセンターで包装された商品が店頭に並び



かさばらず、ドリップが漏れないのでエコバッグも汚れない

お客様にも好評な 環境にやさしい便利な食品パッケージ

ノントレー包装に対するお客様の反応について、埼玉県久喜市にある金重本店青葉店・井野店長は、「ノントレー包装の商品を購入されたお客様から、『ゴミが減って助かる』『ドリップが漏れないから衛生的』『そのまま冷凍できて便利』という声が多く、とても好評です。実際に売上も1.3倍に増えました」と話しています。

用量を削減するノントレー包装は、身近なお買い物を通して環境問題の改善に貢献しています。



店内のPOPで、環境問題の取り組みを啓発している



有限会社金重本店 青葉店 (埼玉県久喜市) 店長
井野 圭造 様



戸田チルドセンターで稼働中のTERAOKAノントレー包装機「TFS-100」

「POP を使ってお客様にきちんと情報をお伝えすることで、全日食チェーンの取り組みをご理解いただいていると感じています。本部・加盟店が一体となって、これからも環境問題に取り組んでいきたいと思えます」(中山様)

食品の鮮度を保ちフードロス減らし、プラスチック使

製品の仕様は予告なく変更されることがあります



お店の様子は
こちらの動画でも
ご覧いただけます。



新しい常識を創造する

株式会社 **寺岡精工**

〒146-8580 東京都大田区久が原5-13-12

www.teraokaseiko.com